

一般建築物コンクリート基礎面仕上用

腰モルタル

～人に優しく、自然環境に適した居住空間を持つ安心な住まい～

〔目 的〕

この施工マニュアルは「腰モルタル」の塗り工事における品質の確保と低亀裂性、耐久性等を追及する為のものです。

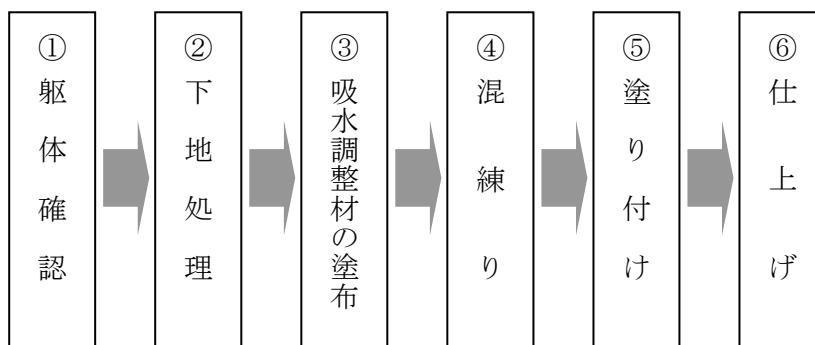
〔用 途〕

「腰モルタル」は住宅基礎用既調合モルタルです。

〔使用材料〕

- | |
|---|
| ① 「腰モルタル」 25kg／防湿紙袋入り |
| ② 「シーラーN #45」(高性能エチレン酢ビ共重合エマルジョン)
／ (18kg 缶入り、4 kg, 1 kg ポリ容器入り) |

〔施 工 工 程〕



工 程	材 料	調 合	所要量	塗り回数
③吸水調整材塗り	「シーラーN #45」:清水	1 : 2	150g/m ²	1～2回
⑤モルタル塗り	「腰モルタル」	25kg (1袋)	7～10kg/m ² 塗り厚5～7mm	2～3回
	「シーラーN #45」	約0.5～1kg		
	清水	約7～7.5ℓ		

〔施工方法〕

① 躯体確認

- 1) 「腰モルタル」の施工に先立ち、コンクリート下地の表面の脆弱部分、ひび割れ等、モルタル塗りに支障がないか点検して下さい。支障のある場合は管理者と協議のうえ適切な措置を講じて下さい。
- 2) 著しい不陸部分、ジャンカ、ひび割れがある場合は、2～3日前に補修をして下さい。
- 3) 施工前に躯体温度が5℃～40℃の範囲内（適正温度）であるか確認し、範囲外であれば、水打ち、シート養生等をして適正な温度にして下さい。

※躯体が高温の場合、ドライアウト・亀裂・クラック・浮き・剥れ等の原因となり、低温の場合、接着不良・硬化遅延・ズレ・剥れ・白華等の原因となります。

※特に、ひび割れ、ジャンカについては浸水の原因となるおそれがあるため十分注意して下さい。表面の脆弱部分とはコンクリート打設時に水の移動によって不純物が強度の低い表層を形成していることをいい、これを除去することなくモルタルを塗付すると剥れの原因となります。

② 下地処理

- 1) モルタルの接着を強固にするため、下地コンクリート面のレイタンス、突起、油分、汚れ等をワイヤーブラシやサンダー等を用いて除去した後、水洗いをする等して強靱な素地を出して下さい。
- 2) 特殊な塗装合板や離型剤を用いたコンクリート面、またはPC板等は全面研磨して下さい。
- 3) 金属部分が下地表面に出ている場合は除去し、表面を錆止め処理して下さい。

③ 吸水調整材の塗布

- 1) 下地コンクリート面の吸水調整のため、下地清掃後に「シーラーN #45」の3倍希釈液（シーラーN #45 1 : 清水 2）を刷毛やローラー等で、ダレ・塗り残しのないように均一に塗付して下さい。

※下地を十分に清掃してから塗付して下さい。（ドライアウトや接着不良の原因となります。）

※1回目塗付後、下地面の吸水が著しい場合は2回目の塗布を行って下さい。

※**希釈倍率**を厳守して下さい。（希釈倍率のプライマー分が少ないと吸水調整が十分に行われず、**エア噛み**等の原因に、また多すぎた場合には塗り付けたモルタルにズレが生じて剥れの原因となります。）

※吸水調整材の塗布後、長時間放置すると埃等が付着し、接着を阻害する恐れがあるので、3日以内にはモルタル塗りを行って下さい。

④ 混練り

- 1) 標準水量より少なめの混合水（あらかじめ「シーラーN #45」を希釈した水溶液）を混練り容器にとり「腰モルタル」をミキサーに加えながら混練りして下さい。
- 2) 続いて、残りの混合水を少量ずつ加えて3分以上混練りし適正な軟度に調整して下さい。

⑤ 塗り付け

- 1) ミキサーにて混練りした「腰モルタル」を初めに薄くコテ圧をかけながら下ごすりして下さい。その後、所定の塗厚に塗り付けして下さい。

※必ず下ごすりをして下さい。下ごすりを行わないと、**エア噛み**等の原因になります。

（1度に厚みを付けて塗り付けると、エアがぬけず、エア噛みが発生します。）

※換気口部分は構造上、亀裂、クラックが入りやすいので必ず、周囲に亀裂防止用ネットを下塗り上塗りの間に伏せ込んで下さい。

⑥ 仕上げ

- 1) 刷毛引き、コテ押えは、「腰モルタル」の上塗り後、しまり・水引きの頃合いを見計らって行って下さい。

※もみ起こしをする場合、もみ浮き、ズレに注意しながら行って下さい。

使用上の注意事項

本品は**厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合品**です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練り混ぜないで下さい。なお、混練りには水道水等の清水を使用して下さい。
2. 混練りした材料は夏期1時間、冬期2時間以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が5℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から6カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低15分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄場の注意

廃棄する製品や混練り材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社

豊運



本社・営業本部 〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目12番4号

TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004 岡山営業部 TEL 0868-38-4001 FAX 0868-38-7022

大阪営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133 京都営業課 TEL 0771-86-0711 FAX 0771-86-0811

URL: <http://www.ho-un.co.jp/>